

ミシシippアカミガメの膀胱, 副膀胱内で確認された卵

谷口 真理・三根 佳奈子・亀崎 直樹

654-0049 神戸市須磨区若宮町1-3-5 神戸市立須磨海浜水族園

Eggs found in the bladder and the accessory bladder of red eared slider turtle (*Trachemys scripta elegans*)

By Mari TANIGUCHI, Kanako MINE and Naoki KAMEZAKI

Kobe-Suma aquarium, 1-3-5, Wakamiya, Suma, Kobe, 654-0049, Japan

筆者らは雌のミシシippアカミガメ(以下, アカミガメ)の解剖中に卵が膀胱, 副膀胱内にそれぞれ入った個体を確認した. 極めて珍しい例と考えここに報告する.

膀胱内に卵が入った個体は, 2011年7月11日に兵庫県明石市瀬戸川河口部にて捕獲された. 背甲長229.0mm, 背甲幅長171.3mm, 腹甲長208.9mm, 体重1376gの雌で, 捕獲後解剖を行った. 膀胱内に入った卵は2卵あり(図1), それぞれの卵径は長径35.9mm, 短径22.8mm, 重さ10.8g, 長径32.7mm, 短径24.9mm, 重さ10.3gであった.

副膀胱に卵が入っていた個体は, 2010年11月10日に神戸市兵庫区内で市民によって捕獲され, 神戸市立須磨海浜水族園に持ち込まれた個体で, 2011年6月5日まで飼育されていた. 解剖時の背甲長は231.7mm, 背甲幅長168.5mm, 腹甲長219.2mm, 体重2048gであった. 副膀胱内に入った卵は2卵あり(図2), それぞれの卵径は長径34.8mm, 短径21.3mm, 重さ10.2g, 長径34.1mm, 短径22.9mm, 重量11.5gであった.

通常, 卵巣から排卵された卵は, ラッパ管に吸い込まれ, 輸卵管を通り, 卵殻が付けられて, 総排泄腔経由で産下される. 卵が入っていた膀胱及び副膀胱は, 輸卵管とともに, 総排泄腔に開口している. 従って, 卵は一度総排泄腔に出た後, 膀胱あるいは副膀胱に入り込んだものと思われる. また, 膀胱あるいは副膀胱に入り込んだ卵の卵径は, 原産地北米のアカミガメの卵径, 長径36.2mm, 短径21.6mm(N=221)(Gibbons, 1990)と差はなかったことから, 異常な卵ではないと思われた.



図1. ミシシippアカミガメの膀胱内に入った卵



図2. ミシシippアカミガメの副膀胱内に入った卵

引用文献

Gibbons, J. W. 1990. Life history and ecology of the slider turtle. Smithsonian institution, Smithsonian. 368p.